

都市再生整備計画(第4回変更)

とろこうえんしゅうへんちく
登呂公園周辺地区

静岡県 静岡市

平成21年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	登呂公園周辺地区	面積	220 ha	
計画期間	平成	17年度～	平成	21年度	交付期間	平成	17年度～平成	21年度

<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇国の特別史跡である「登呂遺跡」を核とした特徴あるまちづくりを進め、歴史的価値を再発見し、来訪者や地域住民の満足度・利便性の向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・学術・観光資源として魅力ある登呂遺跡をつくる。 ・地域の生活環境を改善し、安全・安心な暮らしやすいまちをつくる。
<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況 (経緯)</p> <p>登呂遺跡は、1943年に発見され、戦後本格的な発掘調査が行なわれた。この遺跡は静岡平野南部に立地する、日本で最初に集落と水田跡がセットで発見された弥生時代後期の代表的な農耕集落遺跡である。この登呂遺跡の発掘を契機に日本考古学会が発足するなど、学術文化への関心の高まりと研究の飛躍的な発展も「登呂」の発掘が出发点となっており、記念碑的な遺跡である。約60年前から遺跡の公園整備が始まり、30年前の登呂博物館開館などもあり、利用者数は昭和50年代には約27万人／年のピークを迎えたが、その後、施設や設備の老朽化と相まって、現在では約9万人／年程度と減少の一途をたどっている。しかし、この登呂遺跡公園は静岡市民なら必ず一度は訪れている「心のふるさと」ともいべき場所であり、全国的な知名度と合わせてまちづくりの核として再生させていく必要がある。こうした中で、登呂遺跡を魅力ある歴史公園として再生すべく、「登呂遺跡再整備事業」が開始され、基本構想、基本計画が策定された。一方、この地域は水田遺跡を残す形で、周辺開発が進んだことから、地形がすり鉢状となったことで、近年の大雨による浸水被害が住民の生活に支障を及ぼしている。このため、地域住民から早急に雨水対策を講じるよう要望が出ており、まちづくりを進めるうえで、大きな課題となっている。</p> <p>(現況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登呂遺跡は周辺市町村を含めた小学校高学年の学習コースに組み入れられており、JR静岡駅から徒歩で来訪する生徒も多いが、歩道が未整備な箇所がある。 ・三保羽衣や久能山東照宮など他の観光地を結ぶ道路の未整備区間が存在し、案内標識も不足している。 ・登呂公園周辺は宅地化が進み、公園をとりまく住環境との調和が求められている。 ・登呂遺跡の顕彰や草取りなどを通じてコミュニケーションづくりを進めてきたが、周辺町内会で組織された「登呂会」の活動も年々停滞化している。 ・周辺の土産物屋や商店も来訪者数の低下とともに活気がなくなり、廃業者がでている。 ・地域住民より雨水対策要望が出ており、また、防災意識も高まりを見せており、行政の対応に期待が持たれている。 ・雨水対策については、現在、関係部局により総合的な整備計画を検討しているところである。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇史跡公園として、来訪者や地域住民から愛される、魅力ある「登呂公園」の再整備が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・学術、教育、観光など情報発信による登呂遺跡のイメージアップ。 ・地域住民にとって、身近な登呂公園の整備。 ・賑わいの再生による地域の活性化。 ◇円滑で、分かり易く、安全に訪れることができる周辺道路整備が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・安心して歩ける歩道の整備。 ・観光地を連携する道路の整備と分かり易い案内板の整備。 ◇快適で安心な生活を支える、雨水対策、公園整備が必要である。 <ul style="list-style-type: none"> ・浸水被害に対する住民の不安解消。 ・身近な憩いの場としての公園整備。 <p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡市総合計画(案)による、「心豊かな人を育み、しずおか文化を創造するまち」の中に登呂遺跡の整備が位置付けられている。 ・静岡市新市建設計画による、「人格を高める文化創造と教育の充実」の中に登呂遺跡の整備が位置付けられている。 ・静岡市都市計画マスタープラン地域別構想において、地域整備の基本方針として、登呂遺跡等の歴史的資源の利用促進が位置付けられている。

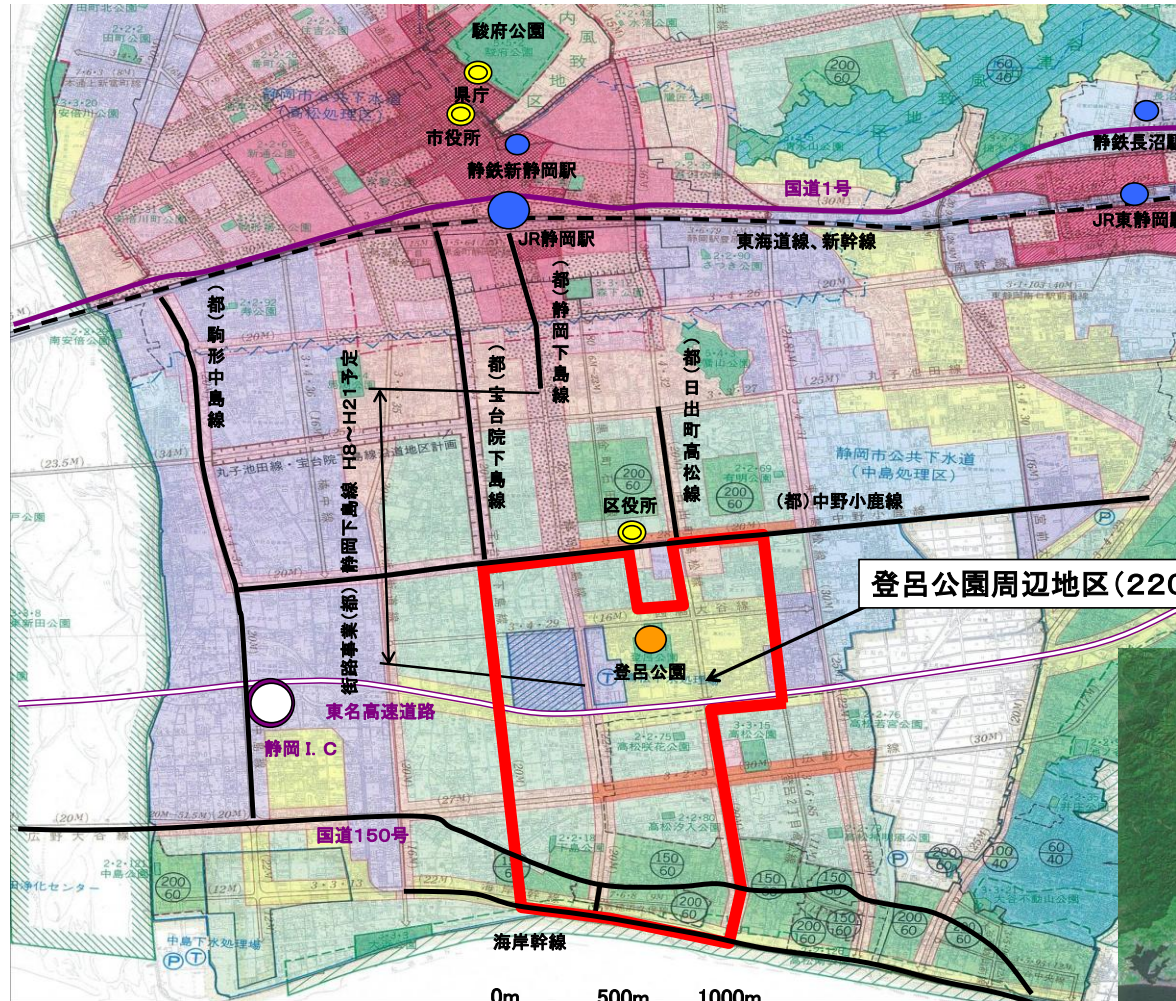
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	目標年度	目標年度
施設の利用者数	人/月	博物館の月当り入館者数	利用者数の増加により、魅力の向上を把握する。	7,500	12,000	H16	H21
交通アクセス等に対する来訪者満足度	%	施設への案内に対する満足度	満足度の増加により施設の利便性の向上を把握する。	40	60	H16	H21
暮らしやすさに対する地域住民満足度	%	施設整備に対する満足度	満足度の増加により暮らしやすさを把握する。	10	40	H16	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>○学術・観光資源として魅力ある登呂遺跡をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史公園という特色ある公園整備と一体化した周辺環境整備 ・再整備事業完成に伴う来訪者の増加を考慮した施設整備 ・地域特性に配慮し、落ち着いた景観の形成及びサイン施設整備 ・観光地を結ぶアクセス道路の整備 <p>○地域の生活環境を改善し、安全・安心な暮らしやすいまちをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のコミュニケーションの場の創設 ・災害時に地域の拠点となる避難場所の確保 ・浸水被害の軽減を図るための治水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園事業(基幹事業):登呂公園整備 (関連事業)登呂遺跡再整備事業 ・地域創造支援事業(提案事業):歴史博物館建設事業 ・地域生活基盤施設(基幹事業):誘導サイン整備 高質空間形成施設(基幹事業):(都)西脇大谷線 ・道路事業(基幹事業):静岡下島線整備、(都)西脇大谷線整備 ・公園事業(基幹事業):登呂公園整備 ・公園事業(基幹事業):(仮称)下島北公園整備 高次都市施設(基幹事業):地域交流センター施設整備 地域創造支援事業(提案事業):登呂遺跡周辺まちづくり支援事業 ・下水道事業(基幹事業):高松3号雨水幹線整備 下水道事業(提案事業):雨水渠整備
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登呂という名の復興 登呂遺跡は弥生時代の代表的な農耕集落遺跡であるが、施設、設備の老朽化や整備の停滞により来訪者数はピーク時の3分の1となっている。文化庁補助事業「登呂遺跡再整備事業」と合わせ、登呂遺跡の再整備が急務となっている。 ・地域住民との連携を図ったうえでの事業実施 地域住民に愛されてこそその歴史公園であり、周辺住民が愛着を持って利用できるよう地元住民の意見も取り入れ、調整を図る。 ・浸水被害を軽減するための地元要望にも応えるために、基盤整備を着実に施行できるよう地元住民との意思統一を図っていく。 ・本事業により周辺町内会で組織された「登呂会」の活動を活性化し、地域コミュニティーづくりを推進する。 	

都市再生整備計画の区域

登呂公園周辺地区(静岡県静岡市)	面積	220 ha	区域 登呂四、五、六丁目、石田二、三丁目、敷地一、二丁目の全部と 登呂一、二、三丁目、有東三丁目、高松、下島の一部
------------------	----	--------	---



登呂公園周辺地区(220ha)



久能山東照宮へ

登呂公園周辺地区(静岡県静岡市) 整備方針概要図

目標	◇国の特別史跡である「登呂遺跡」を核とした特徴あるまちづくりを進め、歴史的価値を再発見し、来訪者や地域住民の満足度・利便性の向上を図る。 ・学術・観光資源として魅力ある登呂遺跡をつくる。 ・地域の生活環境を改善し、安全・安心な暮らしやすいまちをつくる。	代表的な指標	施設の利用者数 (人/月)	7,500 (H16年度) → 12,000 (H21年度)
			交通アクセス等に対する満足度 (%)	40 (H16年度) → 60 (H21年度)
			暮らしやすさに対する地域住民満足度 (%)	10 (H16年度) → 40 (H21年度)

